2022年12月25日 55号



発行:NPOシニア自然大学校 自然と文化科

P1 今号の TOPICS 福島 いずみ P2 仲間たちの近況報告(1)

> 1 班 高橋 弥生

> 2 班 小畑 孝二

仲間たちの近況報告(2) Р3

> 3 班 中村 章 4 班 渡辺 文子

P4 専任幹事ご挨拶 玉尾 ひとみ

リレー随筆 早川 憲

P5 私の玉手箱 杉本 節子

P6 樹形ウォッチング 遊上 眞一

Ρ7 絵画コーナー 藤原 敦子

P8 写真コーナー 玉尾 洋一

P9 俳句• 清 池田

> 竹山 川柳コーナー 秀規

P10 俳句• 山上 恵子

川柳コーナー

◇自然と文化だより◇

ロシアがウクライナに侵攻してから10か 月が経とうとしているが、世界情勢は緊張の 連続で、まず石油高により、物価が高騰し、 あり得ないと思われていた侵攻が現実とな り、次はわが身かと、国防論が叫ばれてい る。日本に取り巻く環境も同様で物価高にな り、中国、北朝鮮に囲まれていて、国防は他 人事でない。「自分の国は自分で守れ!」「ア メリカ頼みではダメ!」の理論は良く分か る。が、現状防衛費はGDP1%でその倍 2%が求められて、プラス6兆円が必要だ。 そのためには増税が必要で、国会で揉めてい る。

皆さん、目の前の生活を取るのか、これか らの未来の安全を取るのか、どちらを選択し ますか? Y.T



今号の TOPICS~(副代表のご挨拶)

ぐちとボヤキと反省と感謝

副代表 福島 いずみ

なかなか後輩が増えない…どこの科も同様の悩みを抱え ているようです。後輩が入ってくることを前提に役が決ま っていくのに、先輩や家族・自身の高齢化とともに少後輩 化の波は容赦もない。勉強しようと思って入ったのに、や たらと忙しく、本を読む暇もない。新聞を読む間すらない のです。ただの使い走り、雑用係、これでは進歩がない。 22期の皆さんは本当によくがんばっています。でも、次に 続く人がいないのです。今の幹事たちは、いつまでこの状 態が続くのか、あまりの忙しさに、新入科員のスカウトに も二の足を踏んでしまいがちです。もっと楽な科にしまし ょうよ!いろんな縛りをなくして、楽しい観察会を心置き なくやりたいですね。

観察会に講師で参加する予定です。何も分かってないの に、おだてられて木に登っているような私に比して、先輩 方の博識とその謙虚さ、陰でされているいろいろな活動を 知ってあらためて頭が下がり尊敬します。でも、それだけ できるならもっと前に出て下さいと言いたいです。私たち 22期ももう入科6年になります。でもまだまだ内容は全 然薄っぺらで、もっと勉強する機会が欲しいです。

調査委員会の幹事はちょっと忙しいけれど大変勉強にな ります。過去の膨大な調査記録を拝見して、驚きました。 でも、そのすごさがあまり皆さんに伝わっていないように 思い残念です。先輩方、もっともっと前に出て知っている ことをいろいろ教えて下さい!

みんなで学びあうような観察会をたくさんやりたいなと 思います。新入科の人たちも同じ思いと思います。こんな にすごい先輩たちと触れ合える時間を持てて、私たちは幸 せです。感謝です。後輩の負担はより軽く、楽しさを倍増 にするために、先輩の力と知識が必要です。ご協力よろし くお願いします!

後輩の皆さん、先輩に遠慮や忖度せず、どんどん注文・ 要望を出して下さい。きっと期待に応えてくれます。楽し くて、勉強になって、入って良かったなと思える科にして いきましょう!

仲間たちの近況報告 (1)

100周年を迎える京都府立植物園

1班 髙橋 弥生

「ここの植物園のコスモスが一番きれいやわ~」 花殻摘みをしていると、来園者からそんな声をよく いただく。嬉しい瞬間だ。私達ボランティアは週3



回花殻摘みに精を出している。

さて、 私の活動 の場であ

るこの植物園は 2024 年に 100 周年を迎える。 その喜ばしい記念の年に向けて衝撃が起きた!!植物 園を含む北山エリア整備基本計画の図面が、突如 2020 年 12 月に京都府から公表されたからだ。

北山通沿道にはアクセスを可能とした商業施設を設け 『賑わいの創出』等々驚くべ



き内容ばかりだった。

100 年かけて育てられてきた木々は切り倒されてしまうのか!?植物園を愛する多くの府民は不安に思い、反対運動が起こった。反対署名は現在約164,000 筆集まったそうだ。

府は民意を受けて、地域の自治会や幼稚園、学校 等への意見聴取を行っている。また、有識者懇話会 がこれまでに 3 回開催された。植物学者や全国の 植物園の元園長等 11 名のメンバーである。11 月 には 3 回目が行われ傍聴してきた。植物公園なの か、生きた植物の博物館の機能をもつ総合植物園な のか議論されていた。さらに、京都ブランドと世界 に誇れる植物園を目指すべきだという意見が多か った。有識者の意見を聞いて、幾ばくか安堵した。



30 年経って老 朽化してきた 観覧温室はど うやら建て替 えられる方向 のようだ。

現在、図面は白紙撤回されたのか、それとも水面下で動いているのかわからない。とにかく目が離せない。

全国レクリエーション大会に参加して

2班 小畑 孝二

9月17日~19日姫路市を中心にして開催されました。前日の準備を含めると4日間の姫路生活がどうなるか楽しみでした。この大会は、コロナ感染者拡大で1年遅れの実施でしたので、スタッフの一員としては長く感じられました。

前日の準備では、会場の準備と袋詰めが主な役割でした。紙類が山のようにあり、運んだり袋に入れたりが夜遅くまであり、これで疲れました。

当日の朝、総合受付で主にJR姫路駅を利用される方々への対応でした。旗を持ってパネルを持っての対応も体力が必要なことが分かりました。そうこうしていると、広島県からレクの旧友で同級生のN君が急に現れてビックリでした。がっちり握手して、互いの存在を確認しあいました。

聞くと「開会式よりも早めに会場に着き、知人たちとゆっくり話ができるのが楽しみなんだ。」という言葉を残して、会場へ一目散でした。同じ旗を持ったボランティアの方から、「数人の参加者らしき方から、話しかけられました。みんなとってもいい感じでした。レクリエーションの方は違うな。」とも言われました。楽しい気持ちにさせてもらいました。この日の夜も、本部の移動で段ボール箱をみんなと運びました。これで疲れました。

次の日、お城近くの公園でニュースポーツの体験

を大学生と一緒にしました。一般の方々を対象にして一緒に遊びました。汗しての活動で、疲れました。 夜は本部での手伝いでした。

最終日、悪天候のためほ とんどが中止になりまし た。屋内では、閉会式が行 われました。私は、自宅で 心地よい疲れを癒してい ました。3日間でしたが、



自分自身、楽しめることができて満足でした。

レクリエーションは、コミュニケーション能力が キーワードだと言われています。N君のように自分 から関わろうとする前向きな気持ちで人と接して、 相手にいい感じに思ってもらえるように、楽しいこ とを通して、私たちシニアもコミュカを今以上に意 識していきたいです。

動く玩具作りは面白い

3班 中村 章

生来木工工作が好きで、身の回りの家具製作のまねごとや子供向けの玩具作りを得意としてきた。2008年工作同好会が発足し、当初は中川リーダ指導のもと自然工作物を使った工作を中心に作品作りを行ってきた。参加メンバーが増えた所で各メンバーが講師となり各人が得意とする作品作りが始まり、分野も手芸、折り紙、木工工作、科学玩具、からくり玩具などレパートリーも多岐に亘ってきた。私は本来得意とした木工工作を取り入れた動く玩具作りを担当し、今までに十種類以上の作品を考案し皆で作り上げて来た。

当初はマニュアルの不備、部材加工の困難さ、 指導の不慣れから計画通り動かないなど芳しく なかった。以降予め部材の加工、組み立ての半製 品化など手がけほぼ全員が完成出来るようになって来た。その中から3点を紹介する。

(1)パクパクあひる(2009年、2022再挑戦)



本体を前または後ろに動かせば、 前の車輪が回転し首が上下、前 後に動き同時にクチバシをパク

パクさせる。

(2)よちよちペンギン(2014年)



二足歩行で歩くペンギンである。 傾けた板の上に置けば、上体を左 右に振りながらよちよちと下に向 かって歩きだす

下に向かう重力で歩き続ける。

(3)酔っ払い人形(2017年)





台座のレバーを下げれば後ろ向きに倒れ、上げれば前向きに倒れる。電柱につかまってふらふらするユーモアな姿。

今まで作り上げた作品の殆どはオリジナルではない。インターネットや日本玩具博物館で見た玩具を調査し、面白そうな玩具を取り上げその機構を想像し、自分なりのアイデアを吹き込み工作物として完成させてきた。動く玩具は幼児から大人まで興味を示す遊び道具である。今後も遊び心は持ち続けて行きたい。

間違ったチョイス

4班 渡辺 文子

色々と間違った選択の結果、皆さんご存知の通り の羽目になってしまい、ご迷惑をおかけしています。

=最初の間違い=

救急車をすぐに呼べなかったこと。医者に「治療開始まで 40 時間経っているから後遺症はのこるなあ」といわれてしまいました。お恥ずかしい限りですが、諸事情をグタグタ並べると2年前(もう2年もたってしまった)の12月30日、トマト鍋をズボンの上にひっくり返してしまって、慌ててズボンを脱いだら、立ち上がれなくなってしまっていました。

脳梗塞とは思いもよらず、「コロナ騒ぎの中でこれが救急車を呼ぶレベル?」「この格好で救急車を呼ぶ?」「大騒ぎになるなあ」と悩んだ挙句、「独身のプロはこんな時にうろたえちゃいけない」(そのころ見てたドラマのセリフそのまま)と思い直して、やっとスマホの所まで這いずっていき、(狭い家なのに絶望的に遠かった)いざ救急車が来てくれても玄関のドアを開けることができなくて、結局、ベランダに梯子をかけて救出していただきました。

=間違いその2=

退院を急ぎすぎたこと。リハビリが遅々として進まないことにじれていた時、神の手を持つといわれる大先生が私を実験台にケーススタディをすることになり、その学習会に私の担当者が誰も来なかったので、余計にじれてむやみに退院を急いでしまいました。

最初の退院をしたその日に転倒して大腿骨骨頭を骨折してしまいました。2度目の入院のリハビリ担当者に、「どうせすぐこけるから、歩くためのリハビリはやらへんで」と言われて、また、無理やり退院してしまいました(人のせいばっかり)。その時はあちこちで見かけるリハビリ専門と銘打った施設でリハビリすればいいと思っていたのです。そういう施設のリハビリと病院のリハビリは質が全然違うので、できるだけ長く病院で治療をすべきでした。返す返すも悔やまれることばかりです。

今、ちょっと高めの自費リハビリに行ってますが、 これが間違いではないように祈るばかりです。

専任幹事ご挨拶

総務チームとして

2班 玉尾 ひとみ

総務の仕事はシンプルだよ!と最初に教えられ、 半年以上になるが、実際その通りだと思う。難し いことは特にないが、少しでも間違えると、かな りまずいことになる。いや、なりそう!自分とし ては、避けて通りたい職務だと思っていた。お世 話係を自ら喜んで引き受ける性格でもないし、気 が利かない、気が付かない、気にしないの三拍子。 そんな人でも大丈夫!と"総務チーム"を用意し ていただいた。講演会等の会場予約は、前任者の Kさんが、PC・プロジェクターの運搬と設定は、 代表のDさん、活動計画表は玉尾が、という具合 である。もちろんその他忘年会や諸々の仕事は随 時でてくるのであるが、Tさんというチームメン バーもいて支えてもらっている。チーム結成は実 に妙案だった思う。今後の引継ぎがよりスムーズ にいくようにマニュアルを充実させていこうとも 思っている。

私は長く企業で勤めていたので、総務の仕事は シンプルどころか対応すべきことは非常に多岐に わたり、マルチタスクに対応しなければならない 職務であることをよく知っている。現役の頃、カ リスマ総務と呼ばれた大先輩の女性がいた。名前 はKさん。業務課総務係の責任者だった彼女は、 課の要であり規範そのものであった。課長はじめ 課員誰もが尊敬の念を持って恐れ、信頼を寄せて いたのは、豊富な知識以外に臨機応変に対応する 能力とスケジュール管理が徹底していて、まさに 「縁の下の力持ち」だったからである。

私にとって総務のイメージは K さんそのもので あった。しかし判りやすい目標に向かって成果を 出し、評価を得ることをモチベーションとしてい た私を含め多くの女性課員にとって、憧れの女性 ではあったが、替わりたいとは思えなかった。

しかし、定年退職までのカウントダウンが聞こ え始めたころ、一時的に総務係に身を置いたこと がある。システム化が著しく進んだため、操作指 導やメンテナンス対応が私の主な仕事になった。 Kさん達が3人でしていた仕事を組織化し、職務 を分担することになったのである。そのうち課の 規模がますます大きくなり、総務係から分離して 企画係に名称が変わった。課の引っ越しや統合対 応によるシステムの移動が加わったからであるが、 まさに今と同じ総務のチーム化であった。

リレー随筆

久しぶりの礼文・利尻島

3班 早川 憲

新聞を見ていたら、礼文・利尻島3日間で 39,800 円と目に飛び込んできた。 稚内の直行便 でホテル 2 泊、島までのフェリーが 2 往復分付 いている。これは安いと6月22日の出発で申し 込んだ(約30年ぶりの4度目の訪問となる)。

第1日目は、昼前に稚内に到着し、午後は稚内 公園・百年記念塔・宗谷岬・ノシャップ岬を見学 した。途中、メグマ原生花園でエゾカンゾウとエ ゾスカシユリの群落を観察(この日の稚内の気温 は 12 度で大阪は 28 度でした)。

第2日目は、6:30発のフェリーで礼文島の香 深港へ。路線バスで知床に向かう(知床は映画の 「北のカナリアたち」のロケ地)。ここから桃岩ト レッキングコース (7.1 km) を約5時間程度かけ てゆっくりと歩くことにした。途中チシマフウロ・ ハクサンチドリ・レブンキンバイソウ・エゾカン ゾウ・エゾスカシユリ・レブンソウ・レブンウス ユキソウ・ヨツバシオガマ等・・・・







チシマフウロ

レブンキンバイソウ レブンウスユキソウ

14 時からは定期観光バスで礼文島一周コース に参加した(レブンアツモリソウ群生地・スカイ 岬・ゴロタ岬・スコトン岬)。





エゾカンゾウの群落

レブンアツモリソウ

第3日目は利尻島に行く。鴛泊から姫沼を一周 してオタドマリ湖へ。あいにく雨空であったが 時々利尻富士も顔を出し夕刻には稚内に戻る。稚 内からの帰路では、機内からの雲海がとても綺麗 だった。

最終的な旅行費用は約6万円程度でおさまり、 安価でとても楽しい旅でした。

私の玉手箱

水引アートに魅せられて

3班 杉本 節子

数十年前金沢方面に行った時、小さなウィンドウに造花や可愛い小箱等飾られているのが目についた。それは水引で結ばれた作品であった。それ以降「水引アート」のことが気になり、PCで検索を繰り返し購入店や指導者を探したが、京阪地区で見つけることができず、消化不良の状態が続いた。それから数年、産經学園で「水引小物」の教室が催されている記事を見つけ、早速参加したが、3ヶ月で終了。残念!!

しかし、その時の講師が京都市内で(常設ではない)教室を開催されていると聞きおよび参加をすることした。内容はその年ごとにテーマがあり、めでたきもの・季節の花・にほんのならわし・こよみ・グリム童話とアンデルセン童話・きものの模様・世界の行事・縁起もの・世界の模様等多種多様であった。今年のテーマは、「京の歳時記をむすぶ」であり、月ごとに講師の創作品 2~5種の内からそれぞれが選択でき、指導を受けられます。受講生の年齢は、20代~中高年層で活気があります。1単位2時間ですが、黙々と創作に臨む人、お互いの作品の進捗状況を確認している人、和気あいあいとした雰囲気の中で一つの作品を完成させます。楽しい時間を過ごしています。

水引について少し説明をします。

水引(みずひき)は細長く切った和紙を太さ 1mm ほどに縒ったものに、よりが戻らないように水糊を引いて、乾かし固めたものです。長い日本の歴 史の中で、金封や結納品につけられる飾り紐として、日本人の慶弔を彩り、表現してきた伝統文化の一つです。

現在はクラフト用の素材として注目され、着色 したり、紙や、糸を巻いて作られています。糸の 種類も豊富にあり、絹糸のような質感のもの、ラ メのような光沢のあるものまで数 100 種以上も あります。

水引細工に必要な道具は「ラジオペンチ」「目打ち」「物差し」「はさみ」「ちり棒」「接着剤」等で「ちり棒」は水引にらせん状の癖をつける道具で特殊です。水引の他にリボンフラワーにも使用さる「地巻線ワイヤー」「カラーワイヤー」「フロー

ラーテープ」「ペップ」等も必要です。よく使われる結び方は「淡路結び」「四と手のあわぢ結び」「梅結び」「玉結び」等です。これらの繰り返しや組み合わせで、平面や立体などさまざまに表現されます。

下のトンボは赤い水引2本で結びました。

もう 1 枚は頭・胸・尾は





赤い絹巻水引、翅はラメ入りを使ってボリューム あるよう仕上げました。





小鳥?と馬の作品は回を重ねての作品ですが、 どのようにして結んだのか、手順が複雑で思い出 すことができない作品です。また、左右の均衡が 悪く、なかなか立たすことができず四苦八苦して この状態。

下の写真はポインセチアのブローチで初期の作品です。豪華に見えるように、1本ずつ結んで 束ねているので時間を要しました。この作品を作 成することができたことにより水引アートのレッ スンを続けていこうと思いました。



その後は四季の花や果物・縁起物(干支・七夕飾り・お月見の飾り・提灯)など習い事を作ることができました。

今後は自分で一つでも創作した作品ができれば と思います。そのために日本の文化についての文 献を読む、スケッチをする、写真を撮るなどの学 びが必要です。どのような方法にしろ作品にした いと思う対象をよく知ることが必要です。

こんなのが出来たよと、紹介できるよう積み重 ねていきます。

樹形 ウォッチング

ウグイスカグラのツバ

3班 遊上 眞一



鶯神楽。春の野山で、神楽を舞う 鶯のような花



白花のウグイスカグラも ありました



徒長枝には 刀のツバのようなものがついて います。

ツバの正体は何か? 2つの説があります



葉は枯れ落ちても、ツバは落ちずに残ります

- ① 托葉が枝を抱き、葉柄と合着した
- ② 葉柄の基部が広がって円盤状になり、枝を 抱いた



上の写真は表側・下の写真は裏側です

3班 藤原 敦子

http://sizentobunka.jp/kaiga/index11.html クリックすると拡大します



正月飾り



不思議な宝石箱





雪降る森のクリスマス

写真コーナー

万博ネイチャーフェス

3班玉尾洋一







俳句・川柳コーナー

俳句

1班 池田 清

- ・一条の光まぶしき冬の海
- ・寒の水弾き飛ばして修行僧
- ・白鳥の水立つ音に湖揺るる



- ・良きことも憂きこともあり年暮るる
- ・朝まだき道を踏みしめ初詣

川柳

シニア川柳:3選(つぶやき付き)

3班 竹山 秀規

- しらゆき姫 夢から覚めれば しわゆき姫 (どんな美女も トシにはかてませぬ! ああ~ ~無情)
- おねえさん! よばれ振向きゃ 別の女(ヒト) (男性諸君、どんな女性も'おばちゃん'呼びは禁句ですよ!)



ババの犬 名前を聞けば ジジと言う (お婆さん、どうしてそんな絶妙な名前をつけたの?)

俳句・川柳コーナー

俳句

4班 山上 恵子

- ・友よりの今年限りと言ふ賀状
- ・暖かき光一条胸に受け
- 若芝や一歩踏み出す幼の歩



川柳



- ・ボケまくり平和も核も絵空事
- ・あれこれと改訂します値上げです
- 2022年の2の月、北から悪魔が降りて来た



55号に投稿頂きました皆様、 お陰様で無事発刊することが出 来ました。ありがとうございま した。来年も引き続き皆様のご 協力を期待しております。

広報委員会